

投資型年金保険
コアノヴァリュー

年金原資保証型変額個人年金保険

特別勘定 月次運用レポート

特別勘定名称

世界資産分散型MU

2026年1月発行

[募集代理店]

[引受保険会社]

第一フロンティア生命保険株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-1日比谷フォートタワー
ホームページ <https://www.d-frontier-life.co.jp/>
お客さまサービスセンター
フリーダイヤル **0120-876-126**
営業時間 9:00~17:00(土日、祝日、年末年始などの休日を除く)

(登)B18F0084(2018.4.20)

投資リスクについて

この保険は、国内外の株式・債券などで運用しており、運用実績が積立金額、死亡給付金額、解約返還金額などの増減につながるため、**株価や債券価格の下落、為替の変動などにより、積立金額、解約返還金額は一時払保険料相当額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。**

諸費用について

この保険にかかる費用は、運用期間中は「保険契約関係費」「資産運用関係費」の合計額、年金受取期間中は「保険契約関係費（年金管理費）」となります。ただし、契約日から10年未満の解約時などには、この他に別途「解約控除」がかかります。

運用期間中

◇すべてのご契約者にご負担いただく費用

項目	費用	時期
保険契約関係費	特別勘定の資産総額に対して 年率 1.95%	左記の年率の1/365を積立金から 毎日控除します。
資産運用関係費*	信託報酬は、投資信託の純資産総額に対して 年率 0.275%（税込）	左記の年率の1/365を投資信託の 信託財産から毎日控除します。

*上記の信託報酬のほか、信託事務に関する諸費用、監査費用、有価証券の売買委託手数料および消費税などを間接的にご負担いただくことがあります。なお、売買委託先、売買金額などによって手数料率が変動するなどの理由から、これらの計算方法は表示しておりません。記載の信託報酬は当レポート発行月現在の数値であり、運用会社により今後変更され引き上げられることがあります。

◇特定のご契約者にご負担いただく費用

項目	費用	時期
解約控除	基本保険金額（減額の場合は減額する部分の 基本保険金額）に経過年数別の 解約控除率（7.0%を上限）を乗じた金額	解約・減額または 「運用期間中年金支払移行特約」を附加した時 の積立金から控除します。

年金受取期間中

項目	費用	時期
保険契約関係費* (年金管理費)	受取年金額に対して最大 0.35% (10年保証期間付終身年金の保証期間経過後、 および死亡時保証金額付終身年金の場合は最大 1.0%)	年金支払開始日以後、 年金支払日に控除します。

*年金額は、年金支払開始日以後、年金（死亡時保証金額付終身年金の場合の死亡時保証金額を含みます。）の支払いとともに費用を控除する前提で算出されますので、費用が年金額から差し引かれるものではありません。また、保険契約関係費（年金管理費）は当レポート発行月現在の数値であり、将来変更することがありますが、年金受取開始時点の保険契約関係費（年金管理費）は年金受取期間を通じて適用されます。
なお、「死亡給付金等の年金払特約」および「運用期間中年金支払移行特約」を附加した場合の特約年金についても同様の取扱いとなります。

ご留意事項

- * 年金原資保証型変額個人年金保険は投資信託ではなく生命保険です。また、この商品は預金とは異なり、預金保険法第53条に規定する保険金支払いの対象とはなりません。募集代理店が元本の保証を行うことはありません。
- * このレポートは年金原資保証型変額個人年金保険の特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- * このレポートには年金原資保証型変額個人年金保険の商品内容のご説明はございません。商品のご検討にあたっては、専用のパンフレットおよび「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」を必ずご覧下さい。また、ご契約の際には、「ご契約のしおり・約款」および「特別勘定のしおり」をご覧下さい。

特別勘定の運用レポート

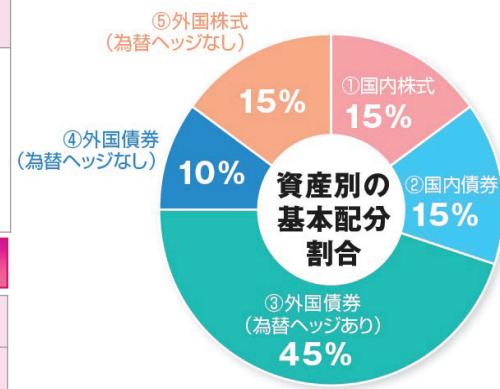
2025年12月末現在

特別勘定の内容

特別勘定の名称	主な投資対象の投資信託	運用会社
世界資産分散型MU	三菱UFJ バランスファンドVA 30型 (適格機関投資家限定)	三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主な投資対象の投資信託と運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
三菱UFJ バランスファンドVA 30型 (適格機関投資家限定)	主として内外の株式および公社債を主要投資対象とする投資信託へ投資し、安定した収益の確保と着実な成長を目指します。基本資産配分は、国内株式15%、国内債券15%、外国株式15%、外国債券(為替ヘッジなし)10%、外国債券(為替ヘッジあり)45%です。



特別勘定資産の内訳

資産総額 (百万円)	資産配分	
	投資信託	現預金等
2	99.7%	0.3%

* 特別勘定は、投資信託を主たる投資対象として運用する他、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有しています。

* 特別勘定資産の内訳は、投資信託の購入・解約の申し込み実績を反映しております。

特別勘定の基準価額と騰落率の推移



* 非表示部分を四捨五入

騰落率	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来	基準価額 (2025年12月末)
	-0.10%	2.61%	5.43%	4.63%	17.37%	41.56%	141.5560

* 特別勘定の基準価額の値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きとは必ずしも一致しません。

特別勘定が一定の現預金等を保有していることや、特別勘定の基準価額計算にあたり保険契約関係費を控除すること等によるものです。

* 年金原資保証型変額個人年金保険は投資信託ではなく生命保険です。また、この商品は預金とは異なり、預金保険法第53条に規定する保険金支払いの対象とはなりません。募集代理店が元本の保証を行うことはありません。

* このレポートは年金原資保証型変額個人年金保険の特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

* このレポートには年金原資保証型変額個人年金保険の商品内容のご説明はございません。商品のご検討にあたっては、専用のパンフレットおよび「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」を必ずご覧下さい。また、ご契約の際には、「ご契約のしおり・約款」および「特別勘定のしおり」を必ずご覧下さい。

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。

※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。

※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
三菱UFJ バランスマザーファンドVA 30型(適格機関投資家限定)

【設定・運用】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

2025年12月末日現在

■商品概要

日本債券インデックスマザーファンド受益証券、TOPIXマザーファンド受益証券、外国債券インデックスマザーファンド受益証券、MUAM主要投資対象 ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券および外国株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

- 運用方針**
- ・日本債券インデックスマザーファンド受益証券15%、TOPIXマザーファンド受益証券15%、外国債券インデックスマザーファンド受益証券10%、MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券45%および外国株式インデックスマザーファンド受益証券15%を標準資産配分とし、これを維持します。
 - ・各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1ヶ月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。なお、リバランスに必要な資金を確保するため、保有する受益証券の一部を解約し、短期金融資産による運用とする場合があります。
 - ・市況動向等を勘案して、標準資産配分の見直しを行う場合があります。

■基準価額および純資産総額の推移



■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	20,130円
前月末比	+14円
純資産総額	0.03億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第17期	2025/02/20	0円
第16期	2024/02/20	0円
第15期	2023/02/20	0円
第14期	2022/02/21	0円
第13期	2021/02/22	0円
第12期	2020/02/20	0円
設定来累計		0円

- ・基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・参考指数は、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)15%、NOMURA-BPI総合インデックス15%、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)15%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)45%およびFTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)10%で組み合わせた合成指数です。
- ・参考指数は、設定日前営業日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.1%	3.1%	6.5%	6.7%	24.6%	101.3%
参考指数	0.1%	3.1%	6.5%	7.0%	25.8%	113.4%

- ・実際のファンドでは、課税条件によってお客様ごとの騰落率は異なります。
また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ・設定來のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■資産構成

	標準 資産配分	ファンドの 資産構成	各資産の 月次騰落率
国内株式	15.0%	15.3%	1.0%
国内債券	15.0%	14.6%	-1.2%
外国株式	15.0%	15.5%	2.0%
外国債券(ヘッジあり)	45.0%	44.7%	-0.5%
外国債券(ヘッジなし)	10.0%	10.1%	0.5%
コールローン他	0.0%	-0.2%	-

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
 ※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
 ※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

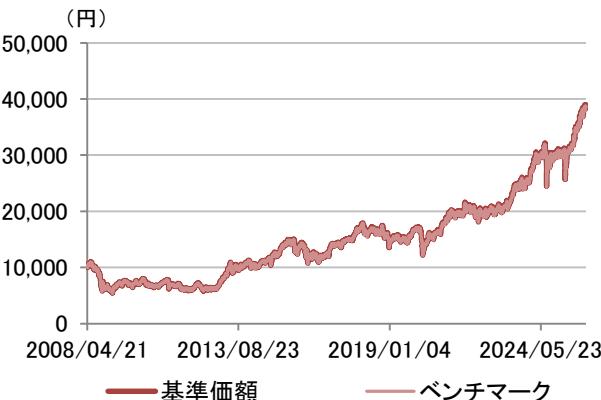
【投資信託の名称】
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)

【設定・運用】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

2025年12月末日現在

各マザーファンドの運用状況 TOPIXマザーファンド

■基準価額の推移



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)です。

■ファンドの特色

- ・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
- ・東京証券取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
- ・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)から乖離するリスクと運用コストの極小化を目的として、定量的なリスク管理に基づいたポートフォリオ構築と適切な売買執行を行います。
- ・株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指標先物取引等の買建額を加算し、または株価指標先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、対象インデックスとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.0%	8.8%	20.8%	25.5%	93.9%	288.0%
ベンチマーク	1.0%	8.8%	20.8%	25.5%	93.8%	285.6%

- ・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
- ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を起点として計算しています。

■資産構成

	比率
実質国内株式	100.0%
内 現物	99.5%
内 先物	0.5%
コールローン他	0.0%

■組入上位10業種

業種	比率	ベンチマーク構成比
1 電気機器	18.3%	18.4%
2 銀行業	10.1%	10.1%
3 卸売業	7.7%	7.7%
4 情報・通信業	7.1%	7.2%
5 輸送用機器	6.9%	7.0%
6 機械	5.9%	5.9%
7 化学	4.5%	4.5%
8 小売業	4.4%	4.5%
9 医薬品	3.7%	3.7%
10 サービス業	3.7%	3.7%

■組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率	ベンチマーク構成比
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.7%	3.7%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.2%	3.2%
3 ソニーグループ	電気機器	2.9%	2.9%
4 日立製作所	電気機器	2.6%	2.6%
5 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.2%	2.3%
6 ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.7%	1.8%
7 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.6%	1.6%
8 三菱商事	卸売業	1.6%	1.6%
9 三菱重工業	機械	1.5%	1.5%
10 東京エレクトロン	電気機器	1.5%	1.5%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・業種は、東証33業種で分類しています。・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指數値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指數の算出、指數値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
 ※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
 ※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
三菱UFJ バランスマネジメントVA 30型(適格機関投資家限定)

【設定・運用】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

2025年12月末日現在

各マザーファンドの運用状況 日本債券インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



- ・グラフは、三菱UFJ バランスマネジメントVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を10,000として指標化しています。
- ・ベンチマークは、Nomura-BPI総合インデックスです。

■ファンドの特色

- ・NOMURA-BPI総合インデックスと連動する投資成果をめざして運用を行います。
- ・NOMURA-BPI総合インデックスに採用されている公社債を主要投資対象とします。
- ・公社債の実質投資比率(組入現物公社債の時価総額に債券先物取引等の買建額を加算し、または債券先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、対象インデックスとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。
- ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。

■騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-1.2%	-2.2%	-3.6%	-6.0%	-8.3%	8.3%
ベンチマーク	-1.2%	-2.2%	-3.6%	-6.0%	-8.3%	8.4%

- ・騰落率は、三菱UFJ バランスマネジメントVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
- ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスマネジメントVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を起点として計算しています。

■資産構成

	比率
実質国内債券	100.8%
内 現物	100.8%
内 先物	0.0%
コールローン他	-0.8%

■ポートフォリオ特性

	ファンド	ベンチマーク
最終利回り	2.0%	1.9%
デュレーション	8.1	8.0

- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを示しています。
- ・デュレーションとは、金利変化に対する債券価格の感応度を示しています。デュレーションの値が大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなる傾向があります。

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	0.2%
1~3年	22.5%
3~7年	30.1%
7~10年	17.4%
10年以上	30.6%

■種別組入比率

種別	比率
国債	85.4%
地方債	5.8%
政府保証債	1.1%
金融債	0.3%
事業債	6.8%
円建外債	0.3%
MBS	1.1%
ABS	0.1%

■組入上位10銘柄

銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1 第373回利付国債(10年)	国債	0.6000%	2033/12/20	1.2%
2 第368回利付国債(10年)	国債	0.2000%	2032/09/20	1.1%
3 第153回利付国債(5年)	国債	0.0050%	2027/06/20	1.1%
4 第369回利付国債(10年)	国債	0.5000%	2032/12/20	1.1%
5 第363回利付国債(10年)	国債	0.1000%	2031/06/20	1.1%
6 第163回利付国債(5年)	国債	0.4000%	2028/09/20	1.1%
7 第371回利付国債(10年)	国債	0.4000%	2033/06/20	1.0%
8 第365回利付国債(10年)	国債	0.1000%	2031/12/20	1.0%
9 第361回利付国債(10年)	国債	0.1000%	2030/12/20	1.0%
10 第370回利付国債(10年)	国債	0.5000%	2033/03/20	1.0%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成ましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることができます。この場合、デュレーションとは債券先物を含めて計算しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・NOMURA-BPI総合インデックスとは、野村ファイナンシャル・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券バフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
 ※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
 ※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)

【設定・運用】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

2025年12月末日現在

各マザーファンドの運用状況 外国株式インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)です。

■ファンドの特色

- ・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
- ・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)に採用されている株式を主要投資対象とします。
- ・株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、対象インデックスとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。
- ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。
- ・組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

■騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.0%	9.7%	21.0%	19.1%	112.9%	603.3%
ベンチマーク	2.0%	9.6%	20.8%	18.9%	111.6%	570.6%

- ・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
- ・設定來の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を起点として計算しています。

■組入上位10業種

業種	比率
1 半導体・半導体製造装置	11.2%
2 ソフトウェア・サービス	9.4%
3 メディア・娯楽	7.6%
4 資本財	7.5%
5 金融サービス	7.0%
6 テクノロジ・ハードウェア・機器	6.9%
7 銀行	6.9%
8 医薬品・バイオテクノ・ライフ	6.7%
9 一般消費財・サービス流通・小売り	4.7%
10 エネルギー	3.4%

■組入上位10銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率	組入銘柄数: 1,139銘柄	
				ベンチマーク構成比	比率
1 NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	5.7%	5.8%	100.5%
2 APPLE INC	アメリカ	テクノロジ・ハードウェア・機器	5.1%	5.1%	98.2%
3 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.3%	4.4%	2.3%
4 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.8%	2.8%	-0.5%
5 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	2.3%	2.3%	2.0%
6 BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	2.0%	2.0%	1.9%
7 ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.9%	1.9%	1.8%
8 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	1.8%	1.8%	1.6%
9 TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.6%	1.6%	1.1%
10 JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.1%	1.1%	

■組入国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	75.2%
2 イギリス	3.8%
3 カナダ	3.6%
4 フランス	2.7%
5 ドイツ	2.5%
その他	10.5%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成ましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。・国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。・業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。・Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とStandard & Poor'sが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
 ※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
 ※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
三菱UFJ バランスマネジメント VA 30型(適格機関投資家限定)

【設定・運用】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

2025年12月末日現在

各マザーファンドの運用状況 MUAMヘッジ付外国債券オープンマザーファンド

■基準価額の推移



■ファンドの特色

- ・世界主要国の公社債（日本を除く）を主要投資対象とし、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）を中長期的に上回る投資成果をめざして運用を行います。
- ・運用にあたっては、クオントモデルを活用することにより主要国の各債券市場を分析し、債券の残存期間構成戦略を超過収益の源泉とします。また、為替変動リスクを回避するため、原則としてフルヘッジを行います。
- ・株式への投資は、転換社債および転換社債型新株予約権付社債の転換等により取得したものに限ります。

- ・グラフは、三菱UFJ バランスマネジメント VA 30型(適格機関投資家限定)の設定日（2008年4月21日）を10,000として指数化しています。
- ・ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）です。

■騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.5%	0.3%	0.3%	0.9%	-2.8%	20.9%
ベンチマーク	-0.6%	0.1%	0.1%	0.9%	-3.0%	20.6%

- ・騰落率は、三菱UFJ バランスマネジメント VA 30型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
- ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスマネジメント VA 30型(適格機関投資家限定)の設定日（2008年4月21日）を起点として計算しています。

■資産構成

	比率
実質外国債券	100.3%
内 現物	100.3%
内 先物	0.0%
コールローン他	-0.3%

■ポートフォリオ特性

	ファンド	ベンチマーク
最終利回り	3.3%	3.4%
デュレーション	6.3	6.2

- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを示しています。
- ・デュレーションとは、金利変化に対する債券価格の感応度を示しています。デュレーションの値が大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなる傾向があります。

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	0.0%
1~3年	26.9%
3~7年	35.1%
7~10年	16.5%
10年以上	21.9%

■組入国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	46.6%
2 中国	12.3%
3 フランス	8.3%
4 イタリア	7.2%
5 イギリス	6.0%
その他	19.9%

■組入上位10銘柄

銘柄	種別	クーポン	償還日	国・地域	比率
1 3.875 T-NOTE 280715	国債	3.8750%	2028/07/15	アメリカ	4.1%
2 4.375 T-NOTE 291231	国債	4.3750%	2029/12/31	アメリカ	3.1%
3 3.875 T-NOTE 300430	国債	3.8750%	2030/04/30	アメリカ	2.8%
4 4.250 T-NOTE 280215	国債	4.2500%	2028/02/15	アメリカ	2.7%
5 4.125 T-NOTE 310331	国債	4.1250%	2031/03/31	アメリカ	2.6%
6 4.750 T-BOND 431115	国債	4.7500%	2043/11/15	アメリカ	2.5%
7 3.625 T-NOTE 290831	国債	3.6250%	2029/08/31	アメリカ	2.3%
8 2.550 CHINA GOVT 281015	国債	2.5500%	2028/10/15	中国	1.8%
9 1.5 CAN GOVT 310601	国債	1.5000%	2031/06/01	カナダ	1.8%
10 4.125 T-NOTE 270215	国債	4.1250%	2027/02/15	アメリカ	1.8%

- ・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・国・地域は原則、発行地で分類しています。・組入通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率です。為替ヘッジ相当分は日本円で表示されます。・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指標のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。

※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。

※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】

三菱UFJ バランスマネジメント VA 30型(適格機関投資家限定)

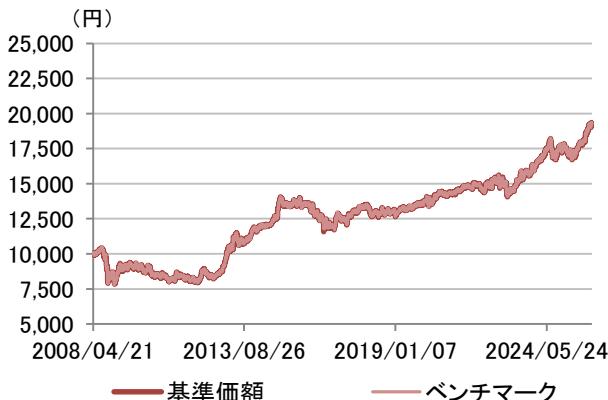
【設定・運用】

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

2025年12月末日現在

各マザーファンドの運用状況 外国債券インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



■ファンドの特色

- ・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
- ・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)に採用されている国債を主要投資対象とします。
- ・公社債の実質投資比率(組入現物公社債の時価総額に債券先物取引等の買建額を加算し、または債券先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、対象インデックスとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。
- ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。
- ・組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

■騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.5%	6.6%	10.3%	8.4%	35.7%	93.2%
ベンチマーク	0.5%	6.5%	10.3%	8.5%	35.8%	93.5%

- ・騰落率は、三菱UFJ バランスマネジメント VA 30型(適格機関投資家限定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を10,000として指標化しています。
- ・ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)です。

■資産構成

	比率
実質外国債券	99.7%
内 現物	99.7%
内 先物	0.0%
コールローン他	0.3%

■ポートフォリオ特性

	ファンド	ベンチマーク
最終利回り	3.4%	3.4%
デュレーション	6.2	6.2

- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを示しています。
- ・デュレーションとは、金利変化に対する債券価格の感応度を示しています。デュレーションの値が大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなる傾向があります。

■組入通貨

通貨	比率
1 米ドル	45.8%
2 ユーロ	29.7%
3 中国元	11.8%
4 英ポンド	5.9%
5 カナダドル	2.1%
その他	4.7%

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	0.7%
1~3年	28.2%
3~7年	34.4%
7~10年	14.1%
10年以上	22.2%

■組入国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	45.7%
2 中国	11.7%
3 フランス	7.6%
4 イタリア	6.8%
5 イギリス	5.9%
その他	22.0%

■組入上位10銘柄

銘柄	種別	クーポン	償還日	国・地域	比率
1 0.625 T-NOTE 300515	国債	0.6250%	2030/05/15	アメリカ	0.6%
2 4.5 T-NOTE 270515	国債	4.5000%	2027/05/15	アメリカ	0.6%
3 0.625 T-NOTE 300815	国債	0.6250%	2030/08/15	アメリカ	0.6%
4 4.375 T-NOTE 270715	国債	4.3750%	2027/07/15	アメリカ	0.6%
5 1.625 T-NOTE 310515	国債	1.6250%	2031/05/15	アメリカ	0.6%
6 2.875 T-NOTE 320515	国債	2.8750%	2032/05/15	アメリカ	0.6%
7 2.75 T-NOTE 320815	国債	2.7500%	2032/08/15	アメリカ	0.6%
8 1.875 T-NOTE 320215	国債	1.8750%	2032/02/15	アメリカ	0.5%
9 1.25 T-NOTE 310815	国債	1.2500%	2031/08/15	アメリカ	0.5%
10 3.5 T-NOTE 330215	国債	3.5000%	2033/02/15	アメリカ	0.5%

- ・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成ましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・国・地域は原則、発行地で分類しています。・組入通貨比率は、為替予約等を含めた実質的な比率です。・FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指標のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)とは、FTSE世界国債インデックス(除く日本)をもとに、委託会社が計算したものです。

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。

※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。

※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】

三菱UFJ バランスマネジメントVA 30型(適格機関投資家限定)

【設定・運用】

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

■市況動向

2025年12月末日現在

国内株式

当月の国内株式市況は上昇しました。上旬から中旬にかけては、国内金利上昇や米国市場で人工知能(AI)関連株の高値警戒感が意識されることなどを背景に不安定な相場展開が続きました。しかし、下旬にかけては米利下げ期待などを背景に米国株が上昇したことや、12月日銀金融政策決定会合を受けて外国為替市場で円安が進行したことなどが下支えとなり、株式市況は底堅く推移しました。

国内債券

当月の国内長期金利は上昇しました。歳出総額18.3兆円の2025年度補正予算案が国会で成立するなか、債券市場では財政拡張懸念が引き続き重しとなりました。また、日銀が12月金融政策決定会合で約1年ぶりとなる追加利上げを決定したことでも長期金利上昇要因となりました。

外国株式

当月の米国株式市況は上昇しました。上旬は日銀の利上げ観測の高まりなどによる日米金利上昇が重しとなりましたが、12月米連邦公開市場委員会(FOMC)が市場予想ほどタカ派的ではなかったことなどを背景に株式市況は上昇しました。中旬から下旬にかけては人工知能(AI)関連株への過度な樂觀を警戒する場面がみられたものの、年末にかけて株価が上がりやすい「年末ラリー」という流れに支えられ、株式市況は底堅く推移しました。
ドイツ株式市況は上昇しました。中旬にかけてはAI関連株が過剰投資懸念から調整する場面がみられたものの、米国の利下げ期待や欧州中央銀行(ECB)による経済成長見通しの上方修正等を背景に投資家のリスク選好姿勢が保たれ、株式市況は堅調に推移しました。

外国債券／為替

当月の米国長期金利は上昇しました。上旬は12月米連邦公開市場委員会(FOMC)が先行きの利下げに慎重なタカ派的な利下げになるとの観測が広がり、長期金利は上昇しました。中旬から下旬にかけては、12月FOMC後の記者会見でパウエル米連邦準備制度理事会(FRB)議長の発言が市場予想ほどタカ派的ではなかったことに加えて、11月の米雇用統計や米消費者物価指数(CPI)が軟化したことを受け、長期金利は上昇幅を縮小する展開となりました。
ドイツ長期金利は上昇しました。財政支出拡大や国債発行増を巡る懸念が引き続き金利上昇圧力となりました。また、欧州中央銀行(ECB)が12月政策理事会で政策金利を据え置き、経済成長見通しを上方修正したことを受け、ECBの利下げ打ち止め観測や欧州景気に対する樂觀的な見方が広がったことも長期金利を押し上げました。
為替は、対円で米ドルが小幅に下落し、ユーロが上昇しました。